

+++++
◇「科研費審査システム改革2018」説明会の開催について（ご案内）
◇エリック・アンド・シーラ・サムソン総理大臣賞 2016 について（ご案内）
+++++

■「科研費審査システム改革2018」説明会の開催について（ご案内）

■「科研費審査システム改革2018」説明会の開催について（ご案内）

日本学術会議ニュース・メールを御覧の皆様

平素より科学研究費助成事業（科研費）についてご協力をいただき心より感謝申し上げます。

文部科学省研究振興局学術研究助成課でございます。

科研費は平成30年度公募より新たな審査希望分野の分類表及び審査方式の導入を中心とした審査システム改革を進めていく予定です。

つきましては、科研費審査システム改革に係る説明会を、以下の日程で開催しますので、御案内申し上げます。

対象は、主として「各研究機関に所属する研究者」としておりますので、御多用中恐縮ですが、関係の研究者のみなさまへ御周知くださいますよう、よろしくお願ひします。

詳細は開催案内のURLを御覧ください。

また、この度の審査システム改革案に関する内容については、文部科学省において、4月21日から5月20日までの1ヶ月間、広く御意見等を募集（パブリック・コメント）する予定です。

パブリック・コメントの詳細については、後日改めて御案内する予定ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【開催案内】

名称：「科研費審査システム改革2018」説明会

日時：平成28年4月26日（火）13時～15時予定

場所：安田講堂（東京大学本郷キャンパス内）

対象：研究者等（一般公募、先着順）

趣旨：2018年度に予定されている科研費の審査区分表と審査方式の一体的な改革（「科研費審査システム改革2018」）をはじめ、科研費改革の趣旨・目的などの全体像について情報を提供し、より質の高い審査システムの構築に向けて、学界・研究者をはじめとし、多くの方々の理解を得ることを目的とします。

プログラム（予定）：

<挨拶（10分）13:00～>

小松弥生（文部科学省研究振興局長）

安西裕一郎（独立行政法人日本学術振興会理事長）

<学界・産業界からのメッセージ（20分）13:10～>

花木啓祐（日本学術会議副会長）

阿部晃一（東レ株式会社代表取締役副社長）

<「科研費審査システム改革2018」についての説明（30分）

13:40～>

山本智

（独立行政法人日本学術振興会学術システム研究センター主任研究員）

<質疑応答（50分）14:10～>

主催：文部科学省、独立行政法人日本学術振興会

URL：http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1367693.htm

※参加登録は、上記 URL から参加登録フォームに必要事項を記入し登録をお願いします。

参加登録受付期間は、「平成28年3月11日（金）～4月15日（金）」としております。（説明会についての周知期間を設けた上で、登録を開始する予定です。）

また、会場の都合により先着順とさせていただきます。

満席になり次第、登録を停止させていただく場合があり、御希望に添えない場合もございますので、その旨あらかじめ御了承願います。

なお、当日の説明会の内容は、後日配付資料を上記ホームページに掲載するほか、映像により配信する予定です。

■-----■
エリック・アンド・シーラ・サムソン総理大臣賞2016について（ご案内）

エリック・アンド・シーラ・サムソン総理大臣賞2016について、推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。会員・連携会員の皆様のご推薦できる賞ですので、同賞にふさわしいと考えられる研究者がいらっしゃいましたら、ご推薦をお願いします。

推薦要領につきましては、以下のホームページでご確認ください。

○エリック・アンド・シーラ・サムソン総理大臣賞：輸送用代替燃料の分野において、科学及び技術面での革新的研究開発に積極的に従事している者を対象とする賞で、授与組織はイスラエル科学技術宇宙省。

〆切は2016年5月15日

（公式ウェブサイト、もしくは pazb@most.gov.il より応募）。

<http://most.gov.il/English/pm%20prize/Pages/default.aspx>

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらかじめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34